

令和2年8月

第2回臨時教育委員会会議

会 議 録

令和2年8月21日開催

会 議 録

開催日時	令和2年8月21日（金）	午後2時	開会
		午後4時13分	閉会
場 所	旭川市教育委員会 会議室		
出席者	教育長及び委員	教育長 黒蕨 真一， <small>教育長職務代理者</small> 本田 哲嗣，委員 滝山 義之 委員 近藤 美保，委員 山崎 與吉	
	事務局	説明員	学校教育部長 山川 俊巳 学校教育部長次長 林上 敦裕 学校教育部長次長 岩崎 昌美 学校教育部長次長 佐藤 潤一 教育指導課主幹 辻並 浩樹
		事務局員	教育政策課 上江 昌弘 同 宮嶋 健吏 学務課主査 長井 恵 学務課 及川 修二
	傍聴者	0人	
公開・非公開の別	一部非公開		
会議次第	1 開会 2 会議録署名委員 3 前回会議録 4 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について ・議案第2号 令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について ・議案第1号 令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について 5 その他 6 閉会		

審 議 内 容	
発 言 者	発 言 要 旨
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和2年8月第2回臨時教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>《会議録署名委員》</p>
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、滝山委員、近藤委員を指名します。</p> <p>《 前回会議録 》</p>
教 育 長	<p>会議録ですが、令和2年4月定例教育委員会会議（令和2年4月21日開催）については既にお手元に配付されておりますが、これらの内容について、御意見はありますか。</p>
各 委 員	<p>ありません。</p>
各 教 育 長	<p>御意見がありませんので、令和2年4月定例教育委員会会議の会議録については、承認することで御異議ありませんか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、令和2年4月定例教育委員会会議の会議録については、承認することといたします。</p> <p>令和2年5月第1回臨時教育委員会会議（令和2年5月6日開催）、令和2年5月定例教育委員会会議（令和2年5月22日開催）、令和2年6月定例教育委員会会議（令和2年6月29日開催）、令和2年7月定例教育委員会会議（令和2年7月27日開催）、令和2年8月第1回臨時教育委員会会議（令和2年8月4日開催）及び令和2年8月定例教育委員会会議（令和2年8月11日開催）の会議録については、現在調製中でございますので、調製後、承認するという事によろしいですか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、令和2年5月第1回臨時教育委員会会議、令和2年5月定例教育委員会会議、令和2年6月定例教育委員会会議、令和2年7月定例教育委員会会議、令和2年8月第1回臨時教育委員会会議及び令和2年8月定例教育委員会会議の会議録については、調製後、承認することといたします。</p> <p>《 審 議 事 項 》</p>
教 育 長	<p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」、議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」及び令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」は、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」、議案第2号「令和3年度に使用する</p>

教 各 事	育 委 務	長 員 局	<p>旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」及び令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」は、秘密会といたします。</p> <p>《 そ の 他 》</p> <p>他に、何かありますか。 ありません。 ありません。</p>
教	育	長	<p>《 秘 密 会 》</p> <p>ここからは、秘密会といたします。 議事運営の都合上、教科書採択に係る案件である令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」及び議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」は、この順番で取り扱うこととします。 それでは、前回に引き続き、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。経過の確認をしながら進めたいと思います。 このことについては、令和2年7月定例教育委員会会議及び令和2年8月第1回臨時教育委員会会議の2回の教育委員会会議で、旭川市教科書調査委員会による専門的な調査研究の結果の報告と質疑を行いまして、前回の令和2年8月定例教育委員会会議において、7種目の採択を終えたところです。 本日は、残りの9種目について、種目ごとに最終段階の審議を行い、種目ごとに1者の教科用図書を採択することといたします。順番は、理科、音楽一般、器楽合奏、美術、技術、家庭、保健体育、英語、道徳の順といたします。その後、特別支援教育と小学校用教科用図書について審議をしたいと思います。 また、前回もお話をさせていただきましたが、皆さんの意見が一つになることが最も良いことだとは思いますが、全てが一致しない場合もあるかと思えます。 まずは、議論を尽くしたいと思いますが、難しい場合は、多くの御意見のあった教科書を採択することで進めさせていただきたいと思えます。 それぞれ委員の皆さんからは、本市の採択方針を踏まえ、1者につままして、その理由も添えて、御発言いただきたいと思います。 御発言の順番は、前回の審議と同様に、本田委員、滝山委員、近藤委員、山崎委員、私の順番で進めさせていただきたいと思えます。 それでは、理科の審議に移ります。本田委員から御発言をお願いいたします。</p> <p>本 田 委 員</p> <p>私は、東京書籍と教育出版で決めかねているところです。 学習指導要領の3つの柱の中の一つに、自然事象の中の問題を見いだし、見通しを持って課題や仮説を設定する力、計画を立て、観察、実験する力、結果を分析して解釈するなど科学的な根拠を基にして表現する力ということが示されていて、これはまさに課題解決学習の手順を迫って学ばせることだと私は思いました。とりわけ、教育出版には、疑問を見付ける、課題を決める、仮説を立てる、計画を立てる、実験観察、考察する、結論を示す手順が各項目ごとにありますが、これと同様に東京書籍も同じような流</p>

れであり、決めかねているというところで、皆さんの意見を伺いながら決定したいと思いました。

また、教科書の大きさについて、東京書籍は前回と変わっている気がします。縦長であり、子どもたちに負担でなければ問題ではないものと思います。これが、採択の一番の理由にはならないですが、規格について皆さんの考えも聞いてみたいと思いました。

滝山委員

私は、教育出版を選びました。

私も、教育出版と東京書籍を比べる形で調べてみました。悩みましたが、教育出版の方が、地域素材やICTの活用など工夫され、本市の課題である自分の考えを発表する力や実験結果に関して仮説を検証するなど、学習の仕方が適切に述べられていると思いました。また、実験方法についても詳しく、器具の使い方についても適切に書かれているのではないかと思います。

東京書籍も良く似ており、見やすく、写真も良いのですが、教育出版の方がまとまっていると感じました。

近藤委員

私は、教育出版を選びました。

私も、東京書籍と教育出版が良いと思い、読み比べてみました。どちらも、学習指導要領に沿っていることはもちろんですので、その部分に差を感じませんでした。そこで、生徒たちが学習するに当たり興味深いのはどちらかという視点で読んでみました。

教育出版は、科学という言葉ではなく、探究という言葉を使っていました。科学は未知のものを興味を持って調べ、突き詰めていくものだと思うので、この探究という言葉を使うことで、まず生徒たちの興味を持たせる意味では、少し違いが出ていると思うことと、単元末の要点の整理と問題が非常に良かったと思います。また、巻末の資料が東京書籍もそうですが、とても詳しくて、実験器具の使い方や道具自体の説明とか、科学に興味がある生徒にそこがプラスアルファになると思います。詳しいことに加えて、分かりやすく書かれているということが、特徴であると思いました。

山崎委員

私は、東京書籍を選びました。

東京書籍、教育出版、啓林館で考えておりましたが、この中でも東京書籍が観察や実験結果の見方を示すことで、考察する力の育成ができるための工夫がされていたこと、またそこから発表する力の育成にも工夫がされていると思いました。

教育長

私は、東京書籍を選びました。

東京書籍、教育出版共にありますが、東京書籍の方が巻頭の教科書の使い方で、理科の導入として、観察・実験・考察・発表の流れが分かりやすく記載されていました。また、各章の前段の「これまで学んだこと」、「この単元で学ぶこと」では、小学校で学んだことの確認ができ、学びの見通しを持てること、さらに最後に「学習内容の整理」で用語の確認や「確かめと応用」で振り返り、それから発展の問いがあることで、各章、単元での学びの定着が一貫してできていると考えました。また、観察・実験の流れがフローチャートで示されていて、その中に結果の見方や考察のポイントを掲載し、結果の分析、考察のための視点が丁寧に示されていました。観察・実験の結果を分析して、解釈する力を育てるのに適していると思いました。

また、巻頭の「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」、「伝わる言葉にしよう、発表のしかた」では、発表や話合いの仕方についての丁寧な解説が掲載されていて、対話的な学びに繰り返し取り組む中で、自分の考えや観察を説明したり発表したりする力が育つのではないかと思います。加えて、専用のWebサイトの方を見てみましたが、条件を選択して行う仮想実験、それから、実験結果のグラフ化など教科書の観察・実験に基づいたシミュレーションに取り組めるようになっており、知識・技

能を定着する上で、このようなコンテンツも充実していました。

教育出版の方は、関係省庁ですとか、民間企業とかいろいろなところに接続されていますが、教科書との関連性については、薄いのではないかと思います。

加えて、東京書籍は、縦長の版でして、私自身は全体として内容が見やすく、観察記録の仕方、レポートの書き方など、そのような意味では使いやすいいと思います。小学校との学びのつながり、学習内容の理解のしやすさ、観察や記録の仕方、考察や発表の力、学習内容の振り返り、確かめ、科学的な知見や態度を身に付ける工夫という意味では、全体として東京書籍と考えたところであります。

今御発言いただいた中では、本田委員が両方のお話がありましたので、東京書籍が3人、教育出版が3人という状況になっております。再度御意見をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

本 田 委 員

両者とも同じようなつくりをしているので、趣旨を逸脱したものになっているとは私は思っておりませんので、生徒にとって、旭川市の生徒の状況に応じてということで決めていくのが良いと思います。どちらを選んだとしても、取り立てて問題が残るとは思いません。

縦長の良さは、最初から終わりまで一枚のページの中で示すことができることです。東京書籍は、横に長いので、見やすさとかゆとりがあって見えると思いますが、両者とも内容的には課題解決の手順は踏んでいるので、両者とも良いと思いました。

教 育 長

教育出版の「ハローサイエンス」という科学の知識を深めるためのコーナーは興味深いものがありました。単元ごとの一つのかたまりとか、内容を深めたり、自分の考え方をまとめて発表するための整理をしていくストーリー立てとしては、若干東京書籍の方が工夫がされていたと思います。巻末の構成は、両者とも相当充実していました。

今の学習指導要領の大きな流れをきちんと汲んでいるのはどちらかというところ東京書籍だと思いました。

近 藤 委 員

私は、当初教育出版と言いましたが、皆さんのお話を聞いて、東京書籍にしようと思います。単元末の「学習内容の整理」と「確かめと応用」で、応用を深めて学習を定着するという面では、非常に優れているということと、Webサイトにおいては、実験のシミュレーションができるなど充実していると思います。

滝 山 委 員

東京書籍は、形は縦長ですが読みやすいですね。写真もきれいで、実験の仕方も詳しく書いてありますので、良い教科書だと思います。

教 育 長

再度御意見をいただいた中では、全体として整理ができたのではないかと思います。理科については、審議の結果、東京書籍に決定することによるのでしょうか。

各 委 員

はい。

教 育 長

それでは、理科は東京書籍に決定します。

続きまして、音楽一般及び器楽合奏の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。

本 田 委 員

私は、音楽一般、器楽合奏ともに教育出版だと思いました。

まず、音楽一般に関して、ガイダンスの機能が、中学校教育学習指導の中で機能を生かせるものということで、「学びのユニット」が見やすかったと思います。それから、「まなびリンク」も、なるほどと思って見えました。

ただ、教育芸術社の良さは、ポピュラー音楽の扱いが広範にわたっていて、興味深かったのですが、学校教育における音楽教育となると、あまりそちらに足場が行っても困るので、幅広さは教育芸術社にあるものの、学びやすさからいうと私は教育出版が良いと思いました。

器楽合奏の方は、前回、小委員会委員長に質問させていただきましたが、

滝山委員	<p>ギターの奏法について、そのコードの表示が、写真が良いか、図が良いかというもので、写真が見やすいというお答えをいただいて、違いといえばそこかなと思ったので、こちらも教育出版を選びました。</p> <p>私も、音楽一般、器楽合奏ともに教育出版としました。</p> <p>音楽一般では、ICTの活用の点から、QRコードを読み取ると、音楽の演奏やパートごとの演奏音源が詳しく掲載されていました。また、課題である音楽表現とか鑑賞等に関しても、考え方を考慮する活動が工夫されていると思いました。</p> <p>器楽合奏に関しても、特にアイヌ民族の楽器であるトンコリが扱われていて、同じくICTが利用しやすくなっていることから、教育出版としました。</p>
近藤委員	<p>私も、音楽一般、器楽合奏両方とも教育出版を選びました。</p> <p>音楽一般では、地域素材がしっかり掲載されていることと、皆さんと同じでQRコードを読み込むと、いろいろな楽器の使い方や音楽が流れて来て、生徒自身が学べるようなコンテンツがたくさんある工夫がされていることが良いと思いました。</p> <p>器楽合奏では、本田委員と同様になりますが、小委員長からの説明にありました楽器の演奏について、イラストより写真の方が分かりやすいということで、教育出版を選びました。</p>
山崎委員	<p>私も、音楽一般、器楽合奏の両方とも教育出版が良いと思います。</p> <p>皆さんと同様の意見となりますが、ICTの活用において、音楽一般では、Webサイトにパートごとの演奏音源などを取り扱っており、内容が工夫されていると思いました。器楽合奏についても、様々な楽器の奏法などの動画を取り扱っており、より主体的に学べるものになっていると思いました。</p>
教育長	<p>私も音楽一般、器楽合奏の両方を教育出版としました。</p> <p>まず、音楽一般の方は、互いの考え方や感じ方を深め、音楽の良さや美しさを味わって聴く力を育成するために、「何が同じで、何が違う？」というコーナーが設けられていて、例えば、雅楽とオーケストラの楽器の違い、歌舞伎とオペラの舞台芸術の違い、それぞれの音楽の特徴を整理できるようワークシートがあったこと、それから各单元ごとに「話し合おう」の欄があって、楽曲から想像したことや感じたことを説明する活動が設定されていました。また、専用のWebサイトには、生徒が主体的に活用して表現の機能を高めたり、鑑賞において聴き深めたりできるコンテンツとして、気になったところや聞き逃したところを繰り返し聞くことができる模範演奏のほか、楽曲の区切りや主題ごとに音源が多数用意されていることで、歌うこと以外にも鑑賞や音楽文化について学べることも含めて全体のバランスが良かったです。</p> <p>器楽合奏の方は、音楽の知識から演奏技能を身に付けて、楽器で音楽を表現する力を育成するために、先ほどもありましたが、ギターや伝統楽器など、中学校において初めて体験する楽器の歴史や構造、演奏上の注意点なども説明が非常に丁寧だったこと、また、楽器を演奏する際の手元や口元を出した写真を多く使って、演奏法を分かりやすく紹介しているということで、各楽器の特徴、違いを知る学習にも適していると思いました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致しました。音楽一般及び器楽合奏については、審議の結果、教育出版に決定することによろしいですか。</p>
各委員	<p>はい。</p> <p>それでは、音楽一般及び器楽合奏は教育出版に決定します。</p> <p>続きまして、美術の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思えます。</p>
本田委員	<p>私は、日本文教出版が良いと思いました。</p> <p>まず、学習指導要領において3つの柱が重視されていて、日本文教出版</p>

と開隆堂は3つの柱においた学びの目標が表記されていました。続いて、生徒の作品の扱いですが、作者の言葉を生徒に分かりやすく伝えるような文言になっていたものが、一番目に日本文教出版で、二番目に開隆堂、最後に光村図書の順番と思いました。何より生徒が生徒の作品を見て、心情に触れるとなると、そこは充実している方が良いと思いました。

次に、分冊の課題があるのですが、分冊になってゆとりが生まれたためか、図版が多く扱われていて、実物大のものがやや多く扱われていたように思いました。また、見開きの屏風なのですが、折り目を付けるとちょうど屏風のような形で工夫がされているのは日本文教出版だと思いました。ただ単に折り曲げて大きく見せているだけではなくて、それを山折り谷折りにすることによって屏風らしく見るといった工夫もあって視覚的に良いものと思います。

それから、地域に出る活動として「美術館へ行こう」という扱いを日本文教出版は大きくしていました。旭川には美術館がありますから、地域との連携として、こういったことが日常的に子ども達の指導に生かせたら、より美術館との連携も図ることができると思ったところです。

最後に、アイデアスケッチという言葉が出てきていて、これは学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱いの中で示されている内容が実際に教科書の中に盛り込まれているのが日本文教出版であったという感想を持ち、私は日本文教出版が良いと判断しました。

滝山委員 私も、日本文教出版が良いと思いました。

本田委員もお話ししていた尾形光琳の壁の絵について、QRコードから説明を見てたら、日本文教出版が一番分かりやすく、写真も出てきて、それがあたかも美術館で聞いているような説明だったことが非常に良かったです。今後はICTを積極的に活用していくことが求められますので、そのICTを有効に活用できる素材が多い日本文教出版だと思いました。

近藤委員 私も、日本文教出版を選びました。

日本文教出版は、本田委員もお話しされていたように、生徒の作品の説明として、どういう気持ちでその作品を制作したのかという作者の言葉がたくさん載っていました。学習していく上で、美術が苦手な生徒はこんなものを作って良いのだろうかとか、どういったものを作れば良いのかと行動に至るまですごく時間がかかる生徒が多いと思います。そこで、そういう生徒の言葉や気持ちを見ることによって、それぞれが自分の気持ちを表現していいんだと気付くことが非常に大事だと思い、日本文教出版を選びました。

山崎委員 私も、日本文教出版だと思いました。

ICTの活用の点から、タブレット端末などを使って動画を作成する課題が設定されていることは、現代の教育ならではの気がしますし、発想したり表現する力が育成されていくのではないかと思います。

教育長 私も、日本文教出版としました。

皆さんのお話と重なりますが、まず、題材が見開き2ページで構成されていて、タイトル、それから見出し、例えば「探して・感じて・語り合っ
て・絵の中をよく見ると」というように、その学びの目的がタイトルに示
されていました。その横に3つの学びの目標があり、学習する目的と題材
をしっかりと示して、何を学ぶかに配慮がされていることもあります。それ
から、作品を鑑賞する上での視点を示した、吹き出しで「造形的な視点」
といった問いですとか、またアイデアスケッチにも工夫が見られていたと
思います。生徒の作品も非常に良く扱われていると思います。また、鑑賞
の活動において実作品への視野を広げ、豊かな表現につながるために原寸
大の図版、それから実際の色に近い印刷によって実物に近い感覚を味わう
ことができるようにページが設定されており、細部まで良く分かるように
なっていました。さらに、情報の整理や動画の作り方ということで今日的

			な美術要素についても内容が含まれていました。
			それから、3冊構成については、発達段階や学びの段階に応じて、その学習内容を3冊に分けて工夫されているのではないかと感じましたので、日本文教出版にさせていただきました。
			皆さんの意見が一致しました。美術については、審議の結果、日本文教出版に決定することによろしいですか。
各教	委員	委員長	はい。
			それでは、美術は日本文教出版に決定します。
			続きまして、技術の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思
			います。
本	委員	委員	私は、開隆堂が良いと思います。
			問題解決の過程に沿った学習活動がしやすくなっていたと思います。問題の発見、課題の設定、実践・追求そして評価改善という流れに沿った学習活動を保障できる教科書のように思いました。図版等の構成が見やすい教科書は、開隆堂が一番だったと思います。ただ、東京書籍の情報領域であるとか、教育図書の「技術ハンドブック」も良かったと思いますが、その中でも開隆堂と判断したところです。
滝	委員	委員	私も、開隆堂としました。
			地域素材、ICTの活用で、学習の振り返りができる工夫がされています。本市生徒の課題である創造する力、解決する力、実生活への利用などで学習を振り返りながら、実践的な技能を生かす点で工夫がされています。使っていて分かりやすいということで開隆堂が良いと思いました。
近	委員	委員	私も、開隆堂を選びました。
			お二人と同じような理由ですが、地域素材が豊富であり、QRコードの内容がとても充実していました。本市生徒の学習の状況に合っているのは開隆堂だと思いました。
山	委員	委員	私も、開隆堂としました。
			「学習のまとめ」や「話し合ってみよう」で、学習の振り返りの活動を充実させるための工夫がされていると思いました。
教	委員	委員長	私も、開隆堂といたしました。
			全ての内容の実習例において、問題解決の手順が示されていて、生徒が見通しを持ちながら具体的に学習に取り組み、課題を解決するような工夫がされていることや、各単元分野の最後に、「学習の振り返り」と「技術と私たちの未来」が設定されていて、話し合っ
			て課題を考えるという学習ができ、生徒自身で考えを深めることができる点で優れていると考えました。また、材料ごとの特性や加工技術など、技術的な特徴が丁寧に分かりやすく説明されており、かつ実践的、体系的な実習活動がしやすいつくりになっていたと考えました。
			皆さんの意見が一致しました。技術については、審議の結果、開隆堂出版に決定することによろしいですか。
各教	委員	委員長	はい。
			それでは、技術は開隆堂出版に決定します。
			続きまして、家庭の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思
			います。
本	委員	委員	私は、開隆堂が良いと思います。
			技術と同じで、課題解決の流れの学習過程が保障されていること。それから、大きく違ったことは、各学校のカリキュラムで変更は可能だと思
			いますが、題材の排列に違いがあったように思います。開隆堂は、家庭とか家族、そこから食・衣・住、消費そして生活の課題と実践という流れですが、他者は食・衣・住・消費・家族・家庭・地域・そして選択学習という排列となっていました。学びやすさから言えば、開隆堂の流れの方が自然だと思
			いました。加えて、食物アレルギーの扱いも適切かと思ったところ

滝山委員	<p>です。</p> <p>私も、開隆堂としました。</p> <p>一つは、北海道の食材や料理の取扱いがあり、ICTの活用では、動画で分かりやすく説明されていました。「調理方法Q&A」では、確かにそういった疑問があると思われることに丁寧に答えていて、実生活における実践的な力が付くのではないかと思ひ、開隆堂にしました。</p>
近藤委員	<p>私も、開隆堂を選びました。</p> <p>技術と同じような内容ですが、北海道の食材を使ったところがあり、滝山委員もお話されていたICTの活用において、いろいろと詳しく載っており、学んだことを実践して、身近な家庭生活で生かせるつくりになっていたと思ひます。</p>
山崎委員	<p>私も、開隆堂が良いと思ひます。</p> <p>「ふり返り」や「生活にいかそう」で、学習内容を振り返り、実生活につなげていくための工夫が一番されているように思ひました。</p>
教育長	<p>私も、開隆堂にしました。</p> <p>実習の例の「調理方法Q&A」などのポイントが掲載されていて、生徒がこれまでに身に付けた技能を生かして家庭で実践できる工夫がされています。また、学習の中で「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「発表しよう」といった取組を設定していて、対話的な学習を促進する工夫がありました。さらに、「ふり返り」や「生活にいかそう」、「学習のまとめ」など、学びを振り返り、課題を生かして定着をさせるためのつくりも含めて、開隆堂が優れていると考えました。</p>
各委員 教育長	<p>皆さんの意見が一致しました。家庭については、審議の結果、開隆堂出版に決定することによろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは、家庭は開隆堂出版に決定します。</p> <p>続きまして、保健体育の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思ひます。</p>
本田委員	<p>私は、学研が良いと思ひました。</p> <p>課題解決型の授業の流れで見ると、一番は学研、続いて東京書籍と思ひました。学研は「学習の目標」、「課題をつかむ」、「考える」、「調べる」、「まとめる」、「深める」という流れで、東京書籍は「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「活用する」、「広げる」という流れになっていますが、学研がより詳しいと思ひました。また、章末資料の充実という観点から、東京書籍が良いと思ひましたが、インターネット依存については、東京書籍は依存傾向に関する調査結果を示しているのみに対し、学研は依存チェックを通してインターネット依存の入り口であるとか、依存状態であるなどが目で確かめられる表になっていました。</p> <p>章のまとめについてですが、学研は「振り返ろう」、「確かめよう」、「生かそう」という項目で、東京書籍は「確認の問題」、「活用の問題」、「日常生活に生かそう」という項目になっており、学研の方が取り組みやすいと感じました。それから、新体力テストの扱いについては、東京書籍は、行い方及びねらいについて記載されていて、学研は、それに加えて、測定結果の活用についても示されています。これも判断によりますが、学研の方が良いと思ひました。</p>
滝山委員	<p>また、皆さんに伺いたいのが、健康な生活と疾病の予防の内容の理解という保健分野の大きな内容であります。感染症とその予防については、私は学研の方が詳しいと思ひましたが、皆さんの御意見を聞きたいところです。感染症の扱いが大きいので、御意見を聞いて考えたいと思ひます。</p> <p>私は、東京書籍としました。</p> <p>東京書籍と学研の2者を比較しましたが、感染症に関しては、東京書籍の方が多くのページで扱っていました。また、東京書籍は目次のページに、</p>

QRコードとともにWebコンテンツの一覧を掲載しており、主な項目に関して説明が書かれていました。その中にある感染症の動画を見たのですが、1918年に流行したスペイン風邪について詳しく述べられており、感染症についての歴史を実感することができました。さらに、手洗いの方法についても動画で紹介されておりました。そういう意味では、東京書籍には、教科書にある以上の知識も興味を持って得られると思えました。

2者とも甲乙付け難いところではありますが、QRコードで得られる情報が東京書籍の方が良いと思って、東京書籍としました。

近藤委員

私は、学研を選びました。

滝山委員がお話されたように、感染症に関しては、東京書籍の方が詳しい情報が得られると思えました。また、巻頭の口絵における食事についての記述では、東京書籍及び大日本図書はスポーツに特化した内容だったのですが、学研だけは「中学校生活と食事」となっていて、スポーツをしない生徒にも役に立つものとなっており、中学生に必要な食事の内容が書いてありました。さらに、学研は「課題をつかむ」、「考える」、「調べる」、「まとめる」、「深める」という生徒それぞれが自分自身に当てはめて、考えたり答えたりまとめたりできる構成となっていました。学習する内容を通り一遍のスポーツ、健康、体力づくりではなく、自分事として捉えて、今後の人生につながっていく問いかけ方、考えさせ方のつくりになっていたことが大きな違いだったと思います。

山崎委員

私は、東京書籍を選びました。

ストレスに対処するためのアサーションや、ネットによるコミュニケーションにおけるトラブルの回避方法を学ぶことができるなど心の健康や、疾病の予防についての理解を深めるための工夫が特になされていると思えました。

教育長

私も、東京書籍とさせていただきます。

東京書籍は、各学習項目ごとに「見つける」、「課題の解決」、「広げる」と区分されていて、主体的に課題解決に向けて進めるように円滑に構成されており、「活用する」では、知識技能を活用して深く考え、記述できる工夫がされているところでもあります。また、巻頭の「この教科書の使い方」の中で、デジタルコンテンツの一覧が示されており、使いやすく配慮されているとともに、動画の教材、シミュレーションも充実していました。それから、学習内容に関連する理科や家庭科など、他の教科との関連ということも多く示されていたと思います。また、性情報、SNSのトラブルなど、今日的なテーマを取り上げている点では、資料、グラフが活用されており、章末の資料なども含めて理解が深められると思えました。

学研は、自己と他者との違いというような課題発見については優れていると思いましたが、QRコードのリンク先が厚労省、環境省などの各省庁のホームページにリンクしていることから、生徒が必要な内容を探ることが難しいのではないかという印象を受けました。そのため、総じて東京書籍の方が良いと考えたところでもあります。

一通り御意見をお聞きしましたところ、東京書籍が3人、学研が2人となっております。再度御意見をお聞きしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

近藤委員

巻末の人体図は東京書籍の方が多角的に捉えられるようになっており、良いと感じました。また、教育長がお話しされていたように、性の多様性やSNSのコミュニケーションに関しても、東京書籍の方が詳しく掲載しているように思います。さらに、東京書籍は地域安全マップの作成を扱っており、災害がここ数年頻繁に起こっていて、旭川でも地域安全マップを作成している地区があるので、生徒の危機意識を高めるためには東京書籍が良いのかなという思いもあります。

本田委員

少ない時数の中で、この教科書を使う保健分野と、大部分は実技が中心

近藤委員	<p>の体育分野で構成された教科ですから、内容が濃すぎるあまり、結局未履修で終わってしまっはいけないので、生徒に限られた時間の中でより多く、正しい情報を得られる教科書であれば、それが一番良いと思います。</p> <p>教科書から学ばなければいけないことは、東京書籍の方が詳しく、今のトピックに合わせて書かれており、一つ一つの単元の深さということも東京書籍の方が良いと思いました。</p>
教育長	<p>細かく言えば、巻末の方にアレルギーや睡眠のような、心身の健康に関する内容を東京書籍が取り扱っていたと思います。</p> <p>再度御意見をいただいた中では、全体として整理ができたのではないかと思います。保健体育については、審議の結果、東京書籍に決定することよろしいですか。</p>
各教員	<p>はい。</p> <p>それでは、保健体育は東京書籍に決定します。</p> <p>続きまして、英語の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思ひます。</p>
本田委員	<p>私は、教育出版を選びました。</p> <p>学習指導要領の改訂の中で、コミュニケーション能力の育成が強く求められておりますが、東京書籍は知識・技能の観点からは、確かに整理されていますが、文法的な内容を詳細に説明するページがあり、量的にも多いと感じ、生徒のコミュニケーション能力が育成されるのか不安があります。教育出版の方が、コミュニケーション能力の育成という点から見て、ゆとりを持って英語に親しめるつくりになっていると思ったところです。</p> <p>東京書籍が良くないわけではなくて、分量が多いため窮屈に押し込まれると、結局、学習指導要領の趣旨に沿わない学習活動が行われがちになるのではないかと心配から、教育出版を推薦しました。</p>
滝山委員	<p>私は、東京書籍が良いと思いました。</p> <p>教育出版は、小学校からの連携を考えると、小学校でも採用したこともあり、良いと思います。</p> <p>東京書籍は、まず、QRコードを使って英語の発音やイントネーションなど、いろいろなことを詳しく述べていることと、本市の課題である即興力の育成、読み取る力の育成、英語を発信する力の育成、ディベートなどの項目について重点が置かれていました。特に、私が強調したいことは、英文法に関してですが、コミュニケーションが取れても、英文法を知らなければ、間違った英語を話してしまうおそれがあります。やはり外国人は、実際話しているときでも正しい文法を使って話しているので、基本はそこにあるのだと思います。加えて、発音や単語力も重要だと思います。また、昨年の全国学力・学習状況調査の結果から、英語の授業を一層充実する必要があることから、教科書を変更する余地はあるのではないかとと思ひます。今のままでは、また同じような結果になる可能性もあるので、両方とも良い教科書であります。東京書籍が良いと思いました。</p>
近藤委員	<p>私は、教育出版を選びました。</p> <p>東京書籍は、「Let's Talk」、「Let's Listen」、「Let's Write」で話す、聞く、書くということがしっかりしていることと、巻末資料が非常に良くて、情報量も多いのが良いと思いました。</p> <p>しかし、滝山委員と真逆の意見になりますが、英語力が低い中で東京書籍を選んでしまうと、また更に分からなくなってしまう生徒が出てしまうことを危惧した部分がありました。小学校で教育出版を採択したので、そこからの流れで中学生になる生徒が、小学校で基礎を学んで来て、同じ教科書会社の中学校の教科書で勉強ができると、長い目で見たときに学力は上がっていく可能性があるのではないかとと思ひました。また、教育出版は、教科書の中に日本語が書かれています。そのため、英語が苦手な生徒でも、確認しながら学習できる教科書になっていると思ひました。きちんと考え</p>

山崎委員

て伝えるという場面が示されているので、まずは基本を学ぶという点で旭川市の生徒には必要ではないかと思いました。

私は、東京書籍を選びました。

QRコードから、口形動画を視聴することで、発音の確認もできますし、自主的に学習できるものであり良いと思いました。また、小中連携のための配慮についても、1年生の中で多くなされており、小学校の学びを丁寧につないでいたと思いました。

教育長

私も、東京書籍と考えました。

総論的にお話すると、小学校については、内容、導入、英語に初めて触れることなので、内容が分かりやすく興味関心が得られて、基礎的な学力が身に付くということの御意見をいただいて、教育出版になったのではないかと考えています。

今の学力はどうかということで、それぞれ滝山委員、近藤委員からもお話がありました。文科省の英語教育実施状況調査で、英検3級程度の学力を有する中学校3年生の割合という項目がありまして、旭川市では今上昇傾向にあります。全国学力・学習状況調査ではあまり良い結果が出ていないこともあり、英語については課題だということもそのとおりですが、昨年度の英検3級程度の学力を有する中学校3年生の割合の結果では、全道、それから札幌市よりも上回っていて、全国平均に近づいているということもあります。若干そこが上昇傾向になっていると、見方も変わってきました。今までの教科書で良いか、あるいは上昇傾向だからそれに合わせた教科書にするかということもあります。私自身としては、上昇傾向にあるのなら、更に学習が深められるものという思いで見ました。

そうした観点から、東京書籍の方が、話すこと、書くこと、読むこと、聞くことの活動領域、4つの技能のバランスが非常に良く工夫がされていて、英語力を一層向上していく上では、指導の充実にもつながる東京書籍の方が優れているのではないかと思いました。具体的には、QRコードで、ネイティブスピーカーが実際に英語を発音する際の口形動画を見ることができたり、発音練習をしたり、それからUnitの冒頭の動画を視聴して新しく学習する表現について理解を促すという工夫がされていて、授業における話す、聞くことの指導についての資料が豊富だと思っております。

教育出版の方は、活動領域から見ると、話すこと、書くことの部分が若干少なくて、聞くこと、読むことに重きが置かれているのではないかと受け止めました。教科書本文の音声は聞くことができますが、視覚に訴える部分が足りなかったのではないかと思いました。

また、学習指導要領に新たに位置付けられた部分で、本市の生徒の課題の一つであります、情報や考えを即座にやりとりする力である即興力を育成するために、第1学年では「Small Talk!」というページが設けられていて、第2、3学年では、本文を基に発展的な対話活動を行う「Plus One」が教科書本文の横に設定されています。そういった設定があり、対話の活動が多く位置付けられている点で、即興力の育成にもつながるのではないかと思いました。また、海外向けのWebサイトの紹介や学級新聞の記事など、多彩な文章形式のリーディング教材を扱っているということと、合わせて文法についても詳しく丁寧に説明があり、本市の生徒の課題の一つである必要な情報を読み取る力を育成するのに役立つのではないかとこのところ、東京書籍が良いと思いました。

今御発言いただいた中では、東京書籍が3人、教育出版が2人という状況になっております。再度御意見をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

近藤委員

英語に関しては、小学校から始まったので、基礎を学んだ底上げと言いますか、苦手な生徒をどう克服していくことが課題だと思います。

東京書籍は、得意な生徒にとってはスタンダードで、きちんと学べる教

	<p>科書だと思えますが、苦手な生徒を置き去りにしないための工夫ができるのであれば、東京書籍で問題はないと思えます。苦手な生徒から見たら、難しい教科書だと思えました。</p>
教 育 長	<p>小学校からの連携は重要なことであり、小学校の段階からスムーズに英語を学んでいく意味では、教育出版が良いと思えます。</p>
滝 山 委 員	<p>しかし、中学校は中学校としての学習の内容として見たときには、先ほどお話したように、東京書籍が良いかと思えました。</p>
	<p>昔の英語教育は、教科書ばかりで、外国人と話す機会もなかったのも、コミュニケーション能力は高くありませんでした。しかし、今は小学校から英語の授業を行い、5、6年生は1年間に何回かALTの先生に教わります。このような機会があるので、外国人が来ても怖じ気付かず、自分の意見を言えるような態度は、昔から見ればずっとできていると思えます。</p> <p>やはり、英語で一番大事なものは単語力や文法だと思えます。単語力がないといけないうい、文法がいい加減では、外国に行っても通用しません。間違った英語を話しても意味がないので、きちんと文法を取り扱っている教科書が良いと思えます。なんとなく話せるから良いのではなく、ネイティブスピーカーまでとは言いませんが、文法に則った英語でないといけないうい、そういったことを丁寧に扱った教科書が良いと思っています。</p>
近 藤 委 員	<p>中学校での英語に初めて触れたときに、好き嫌いが決まってしまう可能性があると思えます。私が教育出版と言ったのは、小学校からのつながりがあり、小学校で英語が教科になってまだ1年だからということです。そこから4年経ってから、状況も見てレベルアップしても良いのではないかと考えました。</p>
本 田 委 員	<p>英語がこれまでの受験英語のままで良いのかという問題があり、知識・技能を身に付けることは当然ですが、それ以上に英語教育がずっと求めてきたことが実現できないから今回の改訂があり、言語活動例まで示しています。国語のような言語活動例を英語で示しているということは、そこに力を入れなさいということです。それが実現しやすい教科書が何より趣旨に合っていると思えます。義務教育にあつては、コミュニケーションの素地や基礎を身に付けましようと言っているのも、受験英語で点数が取れば何よりですが、それを続けてきたことで英語嫌いな生徒が出てきたのではないかという思いがあります。</p> <p>どちらが悪くてどちらが良いという話ではなく、何を身に付けたら良いのかを考えたとき、そこまで差はないですが、教育出版は表現力を重視していると感じましたが、東京書籍は、形というか型を身に付けることを重視していると感じました。</p>
	<p>また、近藤委員のお話のように、小学校で始まったばかりの教科ですから、今回については、小中の連携を重視し、今後検証をしていくことも、一つの方法と思えました。</p>
教 育 長	<p>一番何を重視したのかというと、学習指導要領の中で、話すこと、聞くこと、読むこと、書くことの視点を見ると、コミュニケーションの表現力とは、聞いて話すことかと思えます。話すという点では、東京書籍の方がいろいろな工夫がありました。分量のバランス、QRコードの内容も適切で、ネイティブスピーカーの言葉が聞けて、口元の動画を見て練習ができるという意味では、ただ音声の流れで聞くだけの活動ではないところが良いと思えました。4つの領域がバランス良く育成される場所を見た中で、唯一大きな差があると言え、話すところの違いだと思えます。現在は、小学校からALTが入り授業をするので、そういう素地が小学校の段階でできており、さらに中学校で伸ばして、表現力やコミュニケーション能力、要するに今求められている新しい英語の課題をしっかりと克服できるのではないかと思えました。本田委員のお話のとおり、英語の情報量が多い点では私も感じましたが、内容がある程度押さえていく中では、先ほどお話</p>

近藤委員	<p>したことが大きく考えた点でありました。</p> <p>東京書籍は、いかにも教科書らしくて、とてもまとまったものになっているので、英語を楽しいと思いだめた生徒が、中学校で英語に苦手意識を持たないかという心配はあります。</p>
教育長	<p>学習指導要領のバランスも見ながら、今、生徒の学習の状況がどうかということを確認し、これからどのように知識・技能を伸ばしていくか、あとは小中連携の視点からどう考えるかだと思います。</p> <p>また、現在は教育出版を使っていますが、引き続き教育出版としたときにスムーズに進めるかどうかは分からないところでありまして、各学年で学ぶ内容の構成に違いが出ていることから、授業としては見直す必要が出てくると思います。そうすると、今回東京書籍で採択したとしても、その手間としては変わらないのではないかと思います。</p>
本田委員	<p>必要十分条件ではないことは、どの教科にでも言えることで、同じ教科書だからうまくいくとは思っていないですし、違う教科書だからだめだという思いはありません。教科書そのものを見たときに、私も東京書籍の教科書を評価しており、知識・技能の面ではきっと伸びるのだろうと思います。しかし、近藤委員がお話されたように、英語が苦手な生徒たちがいて、その生徒たちのために応える教科書というのも必要だと思います。</p>
近藤委員	<p>東京書籍も良い教科書で、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことのコミュニケーションがしっかりしていると思います。</p>
本田委員	<p>教育長のお話も納得できるものだと思いますし、滝山委員も良い意見を言われております。僅差だとは思いますが、決めていただいて結構です。</p>
教育長	<p>特段御意見が変わった方がいなければ、冒頭申し上げたとおり、意見が分かれた場合は、最終的には多い意見の教科書に採択をさせていただきたいと思います。</p> <p>東京書籍は3人、教育出版は2人ということで、全員の一致とはなりませんでしたが、英語については、審議の結果、東京書籍に決定することによってよろしいですか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>それでは、英語は東京書籍に決定します。</p> <p>続きまして、道德の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思っております。</p>
本田委員	<p>私は、日本文教出版を選びました。</p> <p>今の道德は考えを話し合ったり、書いたりするなどの言語活動を重視すること、それから、この新しい道德という教科の趣旨が生徒指導面にわたり、いじめであるとかそういった今日的課題に対して、道德の授業で取り扱うということも改定の趣旨の中にあつたように思います。それを重視した教科書というのは日本文教出版と見ていますし、それが実現されるのではないかを思っています。とりわけ、ノートの価値は十分にあると思いますので、私は日本文教出版を推薦したいと思います。</p>
滝山委員	<p>私も、日本文教出版が良いと思います。</p> <p>設問の中に自分の考えをまとめたり、相手の意見を理解したり、そしてその内容を残していった自分の理解を深めることが道德では大事ということになりますが、その意味では、別冊ノートが非常に良くできており、単元ごとにまとめていくことによって、良い道德教育ができるのではないかと思います。</p>
近藤委員	<p>私も、日本文教出版を選びました。</p> <p>お二人とほとんど同じ意見ですが、道德の教科書として内容はそれぞれで、様々な内容をもって構成されていますが、日本文教出版は道德で学んだことや自分の意見をきちんとまとめられ、かつ、話し合った友達の意見もまとめられるというノートが、非常に良いものだと思います。記録に残してあるので読み返すこともできますし、自分の中でまたいろいろな違う</p>

山崎委員	<p>考えが生まれてきたりすると思うので、日本文教出版を選びました。</p> <p>私も、日本文教出版を選びました。</p> <p>皆さんと同じ意見になってしまいますが、別冊ノートのつくりが良く、他人の意見も確認しながら振り返りを行い、考えを深めていく活動が良いと思いました。</p>
教 育 長	<p>私も、日本文教出版としました。</p> <p>皆さんと重なる点がありますが、多面的・多角的に考えることができ、教材ごとにねらいに迫るための発問で「考えてみよう」という設問があったり、別冊のノートに自分や友達の意見をしっかりと記載できるような工夫がありました。また、人間としての生き方について、考えを深めることができるように、教材ごとに学んだことを生かすための発問で、「自分に+1（プラスワン）」という設定をしていました。それから、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材、そういったものには、「学習の進め方」が設定されており、より自分の考え方を整理して、議論して学習が深められる工夫がされていました。そして、学んだことを具体的に体験し、考えを深めるための工夫や、今日的なテーマを取り上げて、学んだ内容を多面的・多角的にまとめて幅広く考える工夫もされていました。最後に、他の教科とのつながりも意識をされていると思いました。以上のことから、全体的に日本文教出版が優れていると考えました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致したところでございます。道徳については、審議の結果、日本文教出版に決定することによろしいですか。</p>
各 委 員	はい。
教 育 長	それでは、道徳は日本文教出版に決定します。
岩崎学校教育部次長	<p>これで16種目について、発行者を1者それぞれ採択するという審議は終わりました。</p> <p>次に、特別支援教育について確認をしたいと思えます。事務局から説明をお願いします。</p> <p>特別支援教育については、北海道教育委員会から通知されております「令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択基準」に示されています。</p> <p>この採択基準では、小学校及び中学校の特別支援学級で特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の文部科学省の検定済み教科用図書を使用することが適当でない場合は、文部科学省の検定済み教科用図書の下学年用、それから文部科学省著作教科書、そして一般図書を採択するということとなっております。</p> <p>まず、文部科学省の検定済み教科用図書については、これまでの審議で決定してきたとおりです。</p> <p>文部科学省著作教科書については、旭川市教科書調査委員会の特別支援教育小委員会小委員長から説明がありましたが、調査を行った教科書全てを採択したいと思えます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のあったとおり、文部科学省の検定済み教科用図書の下学年用、文部科学省著作教科書を採択することとしてよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	異議ありません。
教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、特別支援教育の文部科学省著作教科書を採択することに決定します。</p>
岩崎学校教育部次長	<p>なお、残りの一般図書については、後ほど議案第2号で審議します。</p> <p>これで、16種目及び一般図書を除く特別支援教育について、審議をし、決定しました。採択の結果について、ここで確認をしておきたいと思えます。事務局から報告をお願いします。</p> <p>令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択結果について報告します。</p> <p>国語につきましては、発行者番号38番光村図書出版株式会社。</p>

教 育 長	<p>書写につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 社会の地理的分野につきましては、発行者番号46番株式会社帝国書院。 社会の歴史的分野につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 社会の公民的分野につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 地図につきましては、発行者番号46番株式会社帝国書院。 数学につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 理科につきましては、発行者番号2番東京書籍株式会社。 音楽一般につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 器楽合奏につきましては、発行者番号17番教育出版株式会社。 美術につきましては、発行者番号116番日本文教出版株式会社。 技術・家庭の技術分野につきましては、発行者番号9番開隆堂出版株式会社。 技術・家庭の家庭分野につきましては、発行者番号9番開隆堂出版株式会社。 保健体育につきましては、発行者番号2番東京書籍株式会社。 英語につきましては、発行者番号2番東京書籍株式会社。 道徳につきましては、発行者番号116番日本文教出版株式会社。 特別支援教育につきましては、本市が採択した文部科学省検定済み教科書の下学年用及び同一内容の拡大教科書のほか、文部科学省著作教科書、以上でございます。 令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について、確認をさせていただきましたが、御異議ありませんか。</p>
各 委 員 長 教 育 長	<p>異議ありません。 ここで、今回採択した教科書の給与形態及び使用について、事務局から説明をお願いします。</p>
岩崎学校教育部次長	<p>今回採択した中学校用教科書の給与形態及び使用については、文部科学省からの通知において、原則、今回新しく採択をした教科書を使用することとなっております。 ただし、社会科地理的分野、歴史的分野、英語及び道徳は、学習指導要領が示す内容・排列等との関連において、その給与形態及び使用については、留意することとなっております。 社会科につきましては、1年生において地理と歴史をともに配付し、地理は2年生まで、歴史は3年生まで使用するため、現在1年生に配付されている教科書は引き続き使用することとなります。 続いて、英語につきましては、学習指導要領において3学年分の指導内容が一体となっており、その排列は各者で違いのあるところです。 採択替えがあった場合、採択権者の判断により採択変更前の発行者の新版教科書を使用することも可能となっておりますが、今回新たに採択した東京書籍、これまで使用していた教育出版、いずれの教科書を使用したとしても、来年度の2年生、3年生になる生徒については、学習指導要領において内容が前倒しされており、それらの指導内容を授業の中で補完する必要がありますことから、今回採択することとなった東京書籍を全学年で使用することとしたいと思います。</p>
教 育 長 各 委 員 長 教 育 長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問等はありませんか。 ありません。 それでは、ただいま説明のあったとおり、全学年とも新しく採択した教科書を使用することとして御異議ありませんか。</p>
各 委 員 長 教 育 長	<p>異議ありません。 「異議なし。」と認め、令和3年度から新たに使用する教科書は、全学年ともに、今回採択した発行者の新版教科書とします。 次に、議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」、説明願います。</p>

岩崎学校教育部次長	令和3年度に使用する小学校用教科用図書につきましては、令和元年度に採択を行ったところであり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定に基づき、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科書を採択することとされていることから、現在使用している教科用図書を採択することについて、御審議いただきたいと思ひます。
教 育 長	議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」、御意見、御質問等がありますか。
各 委 員 員 長	ありません。
各 委 員 員 長	それでは、議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり決定することで御異議ありませんか。
各 委 員 員 長	異議ありません。
岩崎学校教育部次長	「異議なし。」と認め、議案第1号「令和3年度に使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり決定します。
岩崎学校教育部次長	次に、議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」、説明願ひます。
岩崎学校教育部次長	令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び小学校用教科用図書を採択いただいたところですが、特別支援学級において当該教科用図書を使用することが適当でない場合、児童・生徒一人一人の障害の種類・程度や能力に応じた内容のものを教科用図書として使用することができるように、北海道教育委員会が採択した「小学部及び中学部を置く道立特別支援学校用一般図書一覧」に掲載されている一般図書を採択することについて、御審議いただきたいと思ひます。
教 育 長	議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」、御意見、御質問等がありますか。
各 委 員 員 長	ありません。
各 委 員 員 長	それでは、議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」は、原案どおり決定することで御異議ありませんか。
各 委 員 員 長	異議ありません。
各 委 員 員 長	「異議なし。」と認め、議案第2号「令和3年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」は、原案どおり決定します。
岩崎学校教育部次長	これまで教科書採択については、4回にわたって御審議をいただきましたが、熱心に御議論をいただき、本日をもって教科書の採択に至りました。皆さんの御協力に感謝申し上げます。
岩崎学校教育部次長	《 そ の 他 》
教 育 長	他に、何かありますか。
各 委 員 員 長	ありません。
各 委 員 員 長	ありません。
各 委 員 員 長	それでは、以上で令和2年8月第2回臨時教育委員会会議を終了いたします。
岩崎学校教育部次長	《 閉 会 》